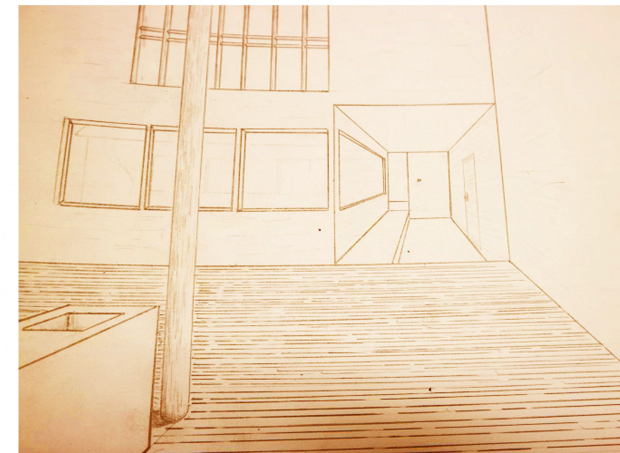


木陰に住む

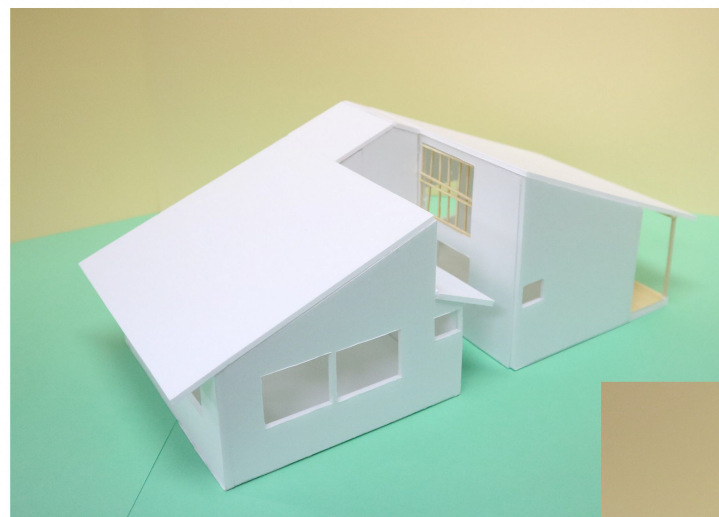
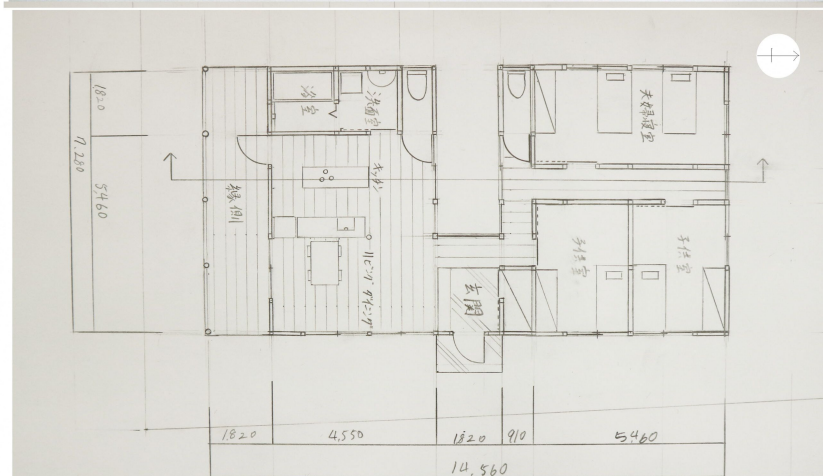
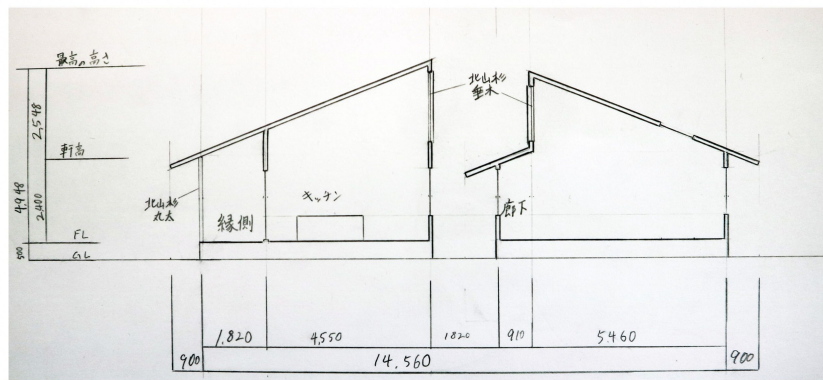


木の良さを最大限に感じられるように木の下の木陰の空間をイメージして設計。木陰のような快適な空間を再現するために家を南北に一直線に通る風の通り道を確認。木漏れ日のような柔らかい光を取り入れようと、トップライトや高い窓を設置。高窓には構造を保つために北山杉の垂木を格子状にはめ、木に反射した光により枝の間から差しような光を表現した。

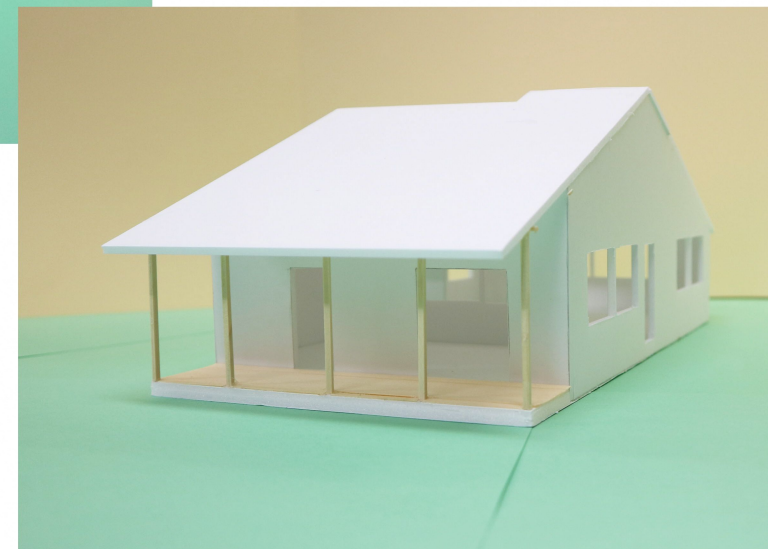
北山杉の板を床に用い、広い縁側がリビングと一体化して見えるように工夫した。リビングの中心に立つ小屋梁を支える柱に北山杉の丸太を使い、木陰をイメージしたこの家の幹として意識してもらおうと、あえて生活の中心に配置した。



リビング内部



北西から望む



南から望む